

## 昔から今の漁業場

～ 六島の漁場と漁獲高～

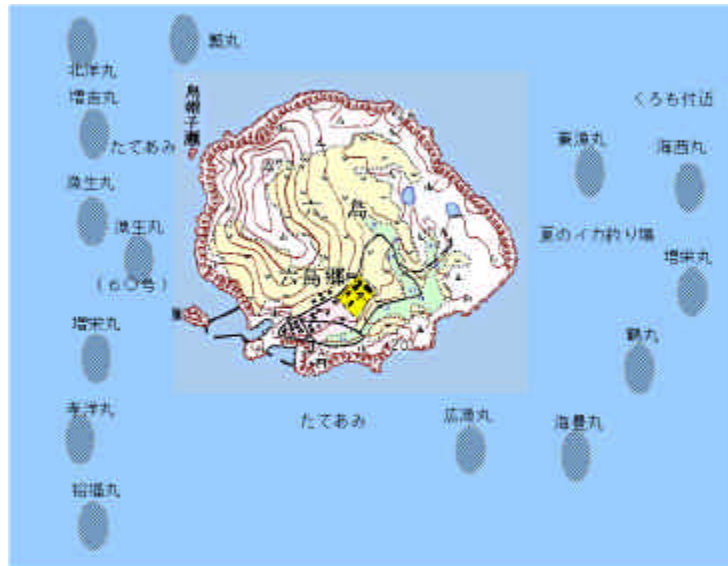


六島分校2年  
小金丸 正輝

## 研究の動機

- 六島の人たちが、どこで、どのような漁業をしているのかをもっと詳しく知っておきたいと思った。
- 六島で、とれる魚と漁法には、どんなものがあるか知りたいと思った。
- 漁獲高は、どのくらいあるのか知りたいと思った。

## 六島の人たちの漁業場 (下図参照)



## 今の六島の漁法

### 1・あみたて

- 漁期 1月～5月
- 獲れる漁種 カワハギ, ヒラメ, マダイ, オコゼ, イシダイ, アラ, クロなど



## 2・あま (すもぐり漁)

- 漁期 5月～6月
- 獲れる漁種  
アワビ, サザエ, ウニ



## 3 一本釣り

- 漁期 7月～12月
- 獲れる漁種 イサキ, アラ, イカ(ミズイカ), タイ, ヒラス  
イカがた



アラ釣り竿



## 4・はえ縄

- 漁期 9月～12月
- カブ縄
- 獲れる漁種 アラカブ, クサビ

## 5・トローリング

- 漁期 9月～10月
- タチ縄
- 獲れる漁種 タチ



- てんてん釣り
- 獲れる漁種 ブリ, ヒラス, シビ, カツオ  
シイラ, ヤズ, ネルゴ

## 昔の六島の漁法

- 1975年 (昭和50年)

- 漁の種類と期日

- 5~6月 あま
- 6~7月 イサキ漁
- 7~8月 鯛縄, イカ釣り, 水イカ
- 9~12月 アラカブ縄 水イカ釣り
- 10~3月 ブクリン縄 (ワケ)



## 昔 (昭和38~39年)の 六島の魚の値段

- ミズイカ

(生で売ると)キロ 400~600円

(小値賀 キロ 500~1000円)

(夏イカで, 乾燥して売ったもの)

キロ 800~1000円

- マダイ キロ 800~1200円

(現在, 600~1000円)減少

- イサキ キロ平均500円 大小問わず

## 六島で獲れる魚の種類

貝類 1、アビ 2、サザエ

甲殻類 1、ヤドカリ 2、イセエビ 3、ウチワエビ、 4、カニ

頭足類 1、イカ 2、タコ

棘皮動物 1、ウニ 2、ナマコ

魚類 1、イサキ 2、アヲ 3、ヒラス 4、カワハギ 5、アジ 6、サバ 7、カツオ 8、タチ 9、ヒラメ 10、マダイなど

約40種類



## 研究の結果

昔と比べて、獲れる魚の値段が、下がってきている。

昔は、フクリン縄やタイ縄を使っていた。でも、今では、全く使われなくなった。

獲れる魚の種類は、昔と変わらない。

## 考察

- 昔やったような、ブクリン縄やタイ縄をやらないのは、魚が、多く獲れなかったと考えられる。
- 昔の船は、動力が小さく魚をするのも苦労していたと考えられる。
- 六島の人たちは、ほとんど同じ場所、同じ漁法で漁を行っている。魚が多く釣れる時と釣れない時があるが、まだまだ、生活できるだけの漁獲量は、あるようだ。

## 今後の研究について

- 漁獲高の違い？ (グラフを使って比較する)
- 昔は、魚が釣れていたのに今は、釣れていない。これから先の、六島の漁業はどのように変化していくのだろうか？
- 漁獲量が減少した原因を調べる。